**熊本県文化財保護協会　新刊書のご案内　２０２２．５**

жжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжж

県報告343集　『宮園Ａ遺跡２』

熊本県上益城郡益城町宮園・木山に所在する宮園Ａ遺跡は、縄文～中世の複合遺跡です。台地の南縁辺部に所在し、南には熊本平野の東端にあたる平野が広がり、条里跡が推定されています。平成28年熊本地震からの復旧・復興を目的とする益城中央被災市街地復興土地区画整理事業に伴い、令和元年度(2019年度)から発掘調査が実施され、今回の調査で2次を数えます。第1次調査では甕棺墓13基が確認され、弥生時代中期中葉から後葉にかけての墓域の広がりが判明する一方、今回の第2次調査では、新たに掘立柱建物4軒、竪穴建物5軒と8世紀後半から10世紀中頃にかけての古代集落の一端が明らかとなりました。これは、同じく古代の建物遺構が発見された大江遺跡と併せて、台地縁辺部の古代集落の展開を考えるうえで重要な成果と言えます。

総　頁 70頁　(写真図版 16頁)　 　頒　布　1,000円（別に送料 310円）

※増刷数が少ないので、必ず在庫があるかをお電話で確認いただきますようお願い致します。

жжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжж

県報告345集　『玉名平野遺跡群１』

玉名平野遺跡群では、調査1区で古代の竪穴建物1棟、土坑墓1基を検出しました。土坑墓には1体の人骨が残存しており、20歳代前半の男性でした。伸展葬で木棺墓の可能性もある墓です。また1区では、弥生時代の竪穴建物1棟、甕棺墓1基、土器廃棄土坑3基、他を検出しました。甕棺墓の棺体は、黒髪式の台付甕を合わせており、中にあった人骨は乳児でした。建物と墓は菊池川の自然堤防上の微高地にあたり今回調査の平地では見られないことから、弥生時代と古代においては集落が菊池川右岸の彎曲部内側の自然堤防上に広がっていたものと考えられます。調査2区では、中世の水田及び古代の水田を確認しました。第2次調査においても中世及び近世の水田を確認しています。古代、古墳、弥生時代の遺物包含層は確認できるものの、水田層が確認できていません。このことから、今回の調査範囲において広く稲作が営まれているのは中世以降で、古代は局所的に稲作が営まれていたと言えるでしょう。

総　頁 90頁　(写真図版 16頁)　 　頒　布　1,000円（別に送料 310円）

※増刷数が少ないので、必ず在庫があるかをお電話で確認いただきますようお願い致します。

жжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжжж

【購入方法】　　　事務局に在庫確認後、郵便局にある青色の振込用紙にて

頒布と送料の合計金額をご入金下さい。

入金が確認され次第発送致します。

【振込先】 　 口座番号　01930-8-17873

加入者名 熊本県文化財保護協会

通 信 欄　書名と冊数を記入

★ 1冊のみ注文の場合は、冊子小包で発送します。報告書代＋記載送料を振込んで下さい。

★ 2冊（2種類）以上注文及び着払いの場合はゆうパック着払いで発送します。

報告書代のみ振込んで下さい。

★ 今後の頒布状況によっては売り切れとなる場合もありえますので、

必ず在庫確認をお願い致します。

熊本県文化財保護協会事務局

〒861-4215 熊本市南区城南町沈目1667 （熊本県文化財資料室内）

TEL / FAX ：0964-28-8399 　 E-mail：s49@kumamoto-bunho.jp

ホームページ：http://www.kumamoto-bunho.jp/